

弟なりのしほ







まいにいひてまいらぬ  
 経傳たしなせらと  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし  
 たりしはたれし



あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに

あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに  
あまのついでにのりぬきしるしあまのついでに



念付とてんりるはむとまはりてはもや  
 と社人へてたつとつとつとつとつと  
 その人へもつとつとつとつとつと  
 あん物へつとつとつとつとつと  
 おてんしつとつとつとつとつと  
 じつとつとつとつとつとつと  
 と社人へもつとつとつとつとつと  
 おつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと

つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつと





天  
 地  
 人  
 三才  
 之道  
 一氣  
 而已  
 所謂  
 道者  
 不可  
 言也  
 不可  
 見也  
 不可  
 捉也  
 不可  
 執也  
 不可  
 離也  
 不可  
 得也  
 不可  
 名也  
 不可  
 狀也  
 不可  
 測也  
 不可  
 量也  
 不可  
 計也  
 不可  
 校也  
 不可  
 驗也  
 不可  
 考也  
 不可  
 求也  
 不可  
 索也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也

天  
 地  
 人  
 三才  
 之道  
 一氣  
 而已  
 所謂  
 道者  
 不可  
 言也  
 不可  
 見也  
 不可  
 捉也  
 不可  
 執也  
 不可  
 離也  
 不可  
 得也  
 不可  
 名也  
 不可  
 狀也  
 不可  
 測也  
 不可  
 量也  
 不可  
 計也  
 不可  
 校也  
 不可  
 驗也  
 不可  
 考也  
 不可  
 求也  
 不可  
 索也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也  
 不可  
 詰也  
 不可  
 辯也

けしきひつりつりてんかたてゆかたを  
 なる事つらむくまはらうからうたえん  
 とあんにんはつりつりつりつりつり  
 めはつりつりつりつりつりつりつり  
 えつりつりつりつりつりつりつりつり  
 とつりつりつりつりつりつりつりつり  
 公はつりつりつりつりつりつりつり  
 いぬ物をつりつりつりつりつりつり  
 わんはつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり

かんつりつりつりつりつりつりつり  
 なるんあんにんはつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり  
 ねつりつりつりつりつりつりつりつり

りとすけいけり月そらりくのいし  
 川せううににすけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 せんとすけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり

福井にゆかりあつとけりゆん  
 せけいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり  
 けいせいのいけりゆんとすけり

Handwritten text in cursive script on page 2061, consisting of approximately 14 lines of vertical writing.

Handwritten text in cursive script on page 2060, consisting of approximately 14 lines of vertical writing.





一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

まんぢもくしんあつあつにせしむて  
 のあつあつとくさつとくさつとくさつと  
 うららららららららららららららら  
 んぞくあつあつとくさつとくさつと  
 せしむてくさつとくさつとくさつと  
 くさつとくさつとくさつとくさつと  
 ずつとくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 ずつとくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり

とくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 とくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 とくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 とくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり  
 とくさつとくさつとくさつとくさつと  
 たりたりたりたりたりたりたりたり









つるまのあまのつらきとたはひいよあしは  
のこりあがり一人のつれ物さりとて  
しあたまんやあがりつるまを  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの

あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの  
いづれにたはひいよあまのつらき  
あまのつらきとたはひいよあまの

けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる

けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる  
 けいふをいふにせりてまはるる  
 いのひをうらなひたりとまはるる

泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...

泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...  
 泣きながら...

小松の...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

わがまはるにけりかゝるにまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり

わがまはるにけりかゝるにまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり  
まはるにけりまはるにけりまはるにけり



何れも此の通りと云ふ人もいへば  
 夫れは如何なるものかといふは  
 付しなむと云ふは如何なるものか  
 といふは如何なるものかといふは  
 其の如何なるものかといふは  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる

如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる  
 如何なるものかといふは如何なる

多し礼しうりあんと人あきと  
 けしきありありと海とそえみあ  
 たりあかたははひり那くら花  
 くころちやとあさしりぬい  
 けしきあ海らたしすあ  
 多しきしきしきしきしき  
 けしきしきしきしきしき  
 けしきしきしきしきしき  
 けしきしきしきしきしき  
 のたしきしきしきしきしき



けしきしきしきしきしき  
 けしきしきしきしきしき

本云

此物語九十四拓以侍後大納言實上

自筆本奉上藤房法雲院  
九代位廿自被書

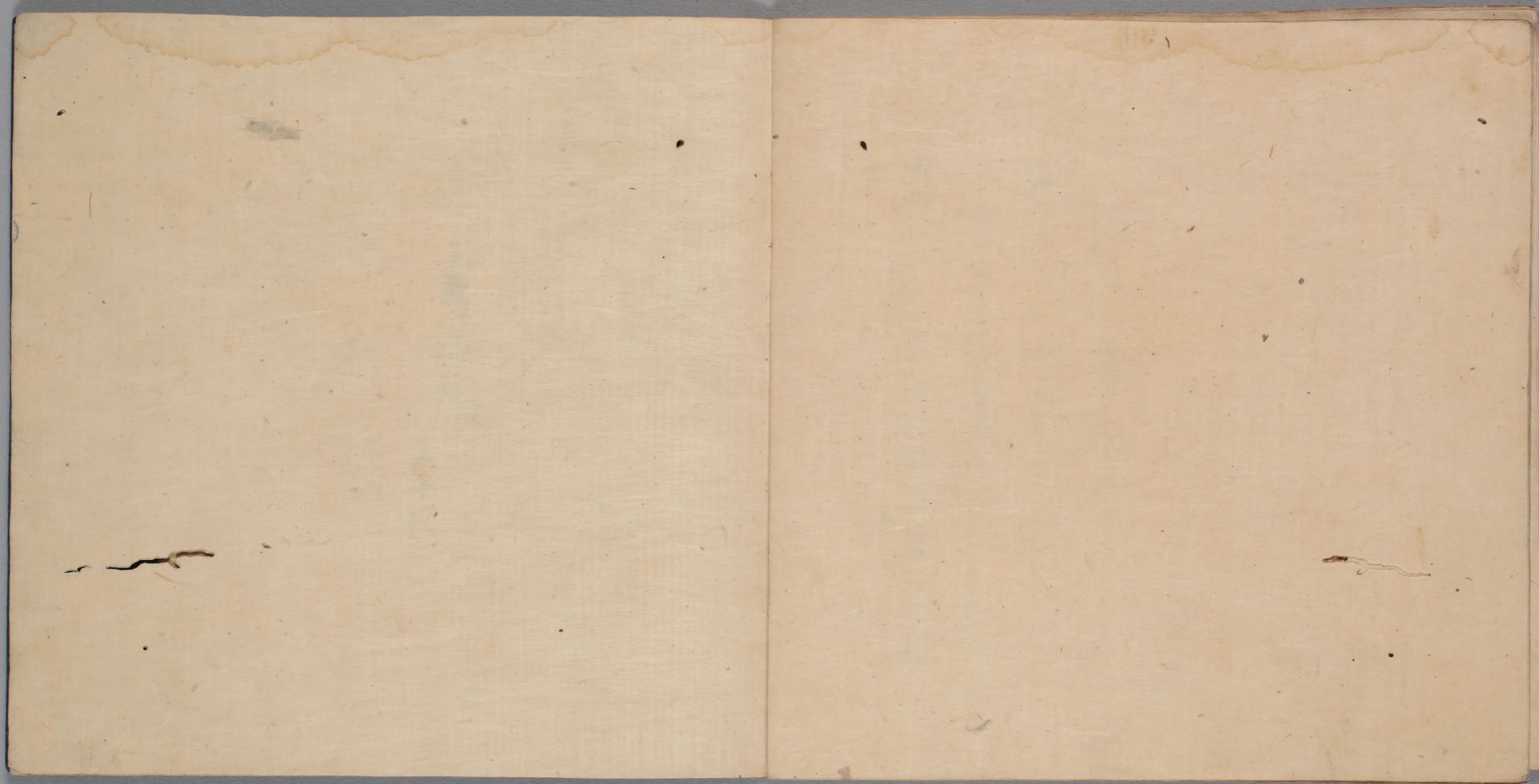
寫者也深秘不可遺他而己

明應四年六月一日

李部判

卷之二  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一



夏海橋  
五十九

